

## 12) グローバリゼーション部門

蘇 義淵（准教授・国際環境法※）

センターの部門に関連した研究活動およびそのアウトプットについて。

アメリカ、カナダ、日本を中心に、バイオテロに関する判例を収集し、バイオテロの思潮が太平洋を越えて、日本に影響を及ぼしているかどうかについて分析を試みた。

日本と台湾における湿地保全に関する法制度の比較研究。

その他（教育活動ほか）

国際環境法の歴史、現状と問題点に関するゼミ。

学会発表

発表課題	学会等名	年月日	発表場所
Wetland Protection Law and Practice In Taiwan	Wetland Ecosystem Management Workshop	2014年 4月1～2 日	西南林業大学法学院（昆明）
台湾湿地保育法之結構	兩岸環境法研究会	2014年 4月25～26 日	福華文教会館（台北）
日米加におけるエコテロ事件及びそれに対する立法的対応	北海道大学高等法政教育研究センター講演会	2014年 6月26日	北海道大学
THE COMPARISON STUDIES ON THE EMISSION TRADING SCHEME IN CHINA AND SOUTH KOREA	15th Global Conference on Environmental Taxation	2014年 9月26日	AARUUS University, COP ENHAGEN (in Danish: KØBENHAVN)
The Legal Structure pf Taiwan's Wetland Conservation Act	2014 Asia Global Land Project Conference	2014年 9月24日	台湾大学（台北）

※台湾・国立中興大学法学部助理教授。当研究科招聘准教授として2013年10月から2014年9月まで当センター所属。